

「第 2 次宇都宮市上下水道基本計画改定計画」(素案)
に関する懇話会委員からの御意見とパブリックコメントの反映について

I 懇話会委員からの御意見について

令和 4 年 1 1 月 2 5 日に開催した第 6 回懇話会において、検討事項としていた件について、以下のとおり整理しました。

1 意見の概要と上下水道局の考え方

No.	意見の概要	意見に対する局の考え方
1	計画フレーム内の生活排水処理人口の数值は合併処理浄化槽を除いたものとなっているが、一方で施策指標の生活排水処理率では合併処理浄化槽が含まれており整合が取れていないと考える。	下水道事業の計画フレームにつきましては、公共下水道などの集合処理を対象とするものとして整理しておりましたが、委員御指摘の通り、施策指標との整合を図り、合併処理浄化槽も含めた分かり易い計画フレームとなるよう、数值を変更しました。

II パブリックコメントについて

市ホームページや、出張所、地区市民センターなどでパブリックコメントを募集し、いただいた御意見について以下のとおり整理しました。

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間 令和4年12月13日(火)

～令和5年1月12日(木)

(2) 意見の応募者数 3名

意見数 5件

(3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	計
人数	0	1	1	1	3

2 意見の処理状況(案)

区分	処理内容	件数
A	意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの	2件
B	意見の趣旨等は、計画に盛り込めずと考えるもの	2件
C	計画の参考とするもの	1件
D	計画に盛り込まないもの	0件
E	その他、要望・意見等	0件
計		5件

3 意見の概要と上下水道局の考え方(案)

(1) 「第2次宇都宮市上下水道基本計画改定計画」全体に関して

No.	区分	意見の概要	意見に対する局の考え方
1	A	前期計画との違いを一覧で示した資料を別添として付けてほしい。	本計画では「前期計画の評価」や、「環境の変化」などを「計画の柱」や「施策指標」に反映した内容で策定しております。 御意見を踏まえ、資料編に前期計画からの変更点を追加しました。

(2) 第2章「上下水道事業の概要」に関して

No.	区分	意見の概要	意見に対する局の考え方
2	C	そのままの水道水を飲用する方は若い方に少なく、年配の方に多いと感じているが何が問題なのか知りたい。	御指摘のとおり、本計画の策定にあたり実施した市民意識調査においても、若い世代の方よりも年配の世代の方のほうがそのままの水道水を飲用されており、若い世代の方はペットボトル水等を飲用している比率が高いという結果が出ております。 これは多様な飲用水の普及が一因であると推察しておりますが、水道水の飲用状況については、引き続きアンケート調査等を実施しながら把握に努めてまいります。
3	A	前期計画の評価と課題について、特に目標値を下回っているものは、実績の記載だけでなく、どのように評価しているのかが分かるような記載としたほうがよい。	前期計画の評価と課題は、取組内容の評価を踏まえた課題について、今後求められるものとして記載しておりましたが、御意見を踏まえ、分かり易い記載となるよう文言を修正いたします。

(3) 第4章「施策・事業の推進」に関して

No.	区分	意見の概要	意見に対する局の考え方
4	B	安全安心な水道水の供給、災害に強い上下水道の確立を望む。	本計画の柱として「安全で安心な水道水の供給」「災害に強い上下水道の確立」などを盛り込んでおります。 今後も引き続き、安定的な事業運営に取り組んでまいります。 《素案P30, P50》

No.	区分	意見の概要	意見に対する局の考え方
5	B	これから先、人口減少や高齢化が進む中、健康に必要な水が本当に大丈夫なのか不安である。	<p>安全で安心な水道水の供給につきましては、市民生活に欠かせないライフラインとして、大変重要であると考えており、本計画の施策・事業においても水質管理の充実や、広報活動を通じた、水道水のおいしさや安全性の周知等を位置付け、安定した水需要の確保に向けて取り組むこととしております。</p> <p>今後、どのような社会状況の変化の中にあっても、安全で安心な給水を継続できるよう努めてまいります。《素案P30, P51》</p>